

宇部・山陽小野田消防組合告示第7号

宇部・山陽小野田消防組合財政状況の公表に関する条例(平成24年条例第27号)の規定により、平成29年度下半期財政状況(平成30年3月31日現在)を公表します。

平成30年(2018年)5月1日

宇部・山陽小野田消防組合  
管理者 久保田 后子

1 歳入歳出予算の執行状況

○ 歳 入

科目 (款)	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額(上半期)	収入済額(下半期)	収入済額(全体)	執行率
分担金及び負担金	2,853,300 千円	△ 43,628 千円	2,809,672 千円	1,382,522 千円	1,401,390 千円	2,783,912 千円	99.1 %
使用料及び手数料	22,020 千円	△ 525 千円	21,495 千円	12,628 千円	11,503 千円	24,131 千円	112.3 %
県支出金	53,108 千円	25 千円	53,133 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0.0 %
繰越金	1,000 千円	18,030 千円	19,030 千円	19,030 千円	0 千円	19,030 千円	100.0 %
諸収入	4,426 千円	△ 32 千円	4,394 千円	1,913 千円	7,952 千円	9,865 千円	224.5 %
組合債	19,400 千円	△ 1,600 千円	17,800 千円	0 千円	17,800 千円	17,800 千円	100.0 %
歳入合計	2,953,254 千円	△ 27,730 千円	2,925,524 千円	1,416,093 千円	1,438,645 千円	2,854,738 千円	97.6 %

※ 収入済額(上半期)は平成29年4月1日から同年9月30日まで、収入済額(下半期)は平成29年10月1日から平成30年3月31日まで。

○ 歳 出

科目 (款)	当初予算額	補正額	流充用額	予算現額	支出済額(上半期)	支出済額(下半期)	支出済額	執行率
議会費	374 千円	0 千円	0 千円	374 千円	134 千円	186 千円	320 千円	85.6 %
総務費	13,433 千円	△ 805 千円	31 千円	12,659 千円	2,710 千円	2,202 千円	4,912 千円	38.8 %
消防費	2,793,343 千円	△ 26,800 千円	572 千円	2,767,115 千円	1,235,051 千円	1,339,439 千円	2,574,490 千円	93.0 %
公債費	142,104 千円	△ 125 千円	0 千円	141,979 千円	70,990 千円	70,977 千円	141,967 千円	100.0 %
予備費	4,000 千円	0 千円	△ 603 千円	3,397 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0.0 %
歳出合計	2,953,254 千円	△ 27,730 千円	0 千円	2,925,524 千円	1,308,885 千円	1,412,804 千円	2,721,689 千円	93.0 %

※ 支出済額(上半期)は平成29年4月1日から同年9月30日まで、支出済額(下半期)は平成29年10月1日から平成30年3月31日まで。

2 住民の負担の概況(平成30年3月31日現在 宇部・山陽小野田消防組合管内)

消 防 費 予 算 総 額	1人当たりの消防費	1世帯当たりの消防費	人口 / 世帯数
2,925,524 千円	12,756 円	27,104 円	229,336 人 / 107,938 世帯

3 財産、組合債及び一時借入金の現在高(平成30年3月31日現在)

区 分	詳 細 区 分	現 在 高	備 考
財 産	土 地	0 m <sup>2</sup>	土地・建物・車両については、構成市より無償貸与 (消防組合で整備したものを除く。) 消防車両等配備状況 消防自動車等31台、高規格救急自動車11台、 その他の車両(連絡車等)29台
	建 物	24 m <sup>2</sup>	
	車 両	23 台	
	基 金	0 千円	
組 合 債	—	661,355 千円	
一 時 借 入 金	—	0 千円	

4 平成29年度(平成30年3月31日現在)の財政状況及び財政方針

平成29年度は、一般会計当初予算として29億5,325万4,000円を編成し、消防組合の重要課題に積極的に取り組んできました。年度途中で諸需要にあわせて補正を行った結果、平成29年度最終予算は29億2,552万4,000円となりました。

消防組合の予算は、構成市からの分担金により成り立っていますので、最大限の歳出減努力及び効率的な財政運営を行い、安定した消防行政サービスを提供していきます。

引き続き、「安心・安全なまちづくり」を積極的に推進し、住民とともに歩む安心して暮らせる安全な都市(まち)をめざして全力を挙げて事業に取り組めます。

